

# 実施したアンケート

鹿児島大学医学部医学科に関する皆様

2023年7月



鹿児島大学医学部医学科の教育理念等に関するアンケート



鹿児島大学医学部長 大脇哲洋  
副医学部長（教育担当） 下堂蘭恵  
医歯学教育開発センター 横尾英孝

このアンケートは、鹿児島大学医学科に関する皆様に、当科の教育理念や教育到達目標を、国民および世界のために、時代に即したものに改変して行く上でのご意見を伺うものです。

鹿児島大学では、「鹿児島大学憲章」を定め (<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/kensyo.html>)。これに則った、学生憲章 (<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/gakuseikensyo.html>) を制定し、教育到達目標 (<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/%E6%95%99%E8%82%B2%E7%9B%AE%E6%A8%99.pdf>) を掲げています。

これらを基に、医学部医学科では、教育の理念（ミッション）を、以下のように制定しています。 (<https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~med/education-of-medicine/mission.html>)

## 【医学科のミッション】

基本理念に基づき、鹿児島大学医学部医学科は、以下の能力を共に有した人材を育成する。

1. 人を尊重し、人と地域社会のために最善の医療を実践する優れた臨床医としての能力
2. 科学的思考力を有して生涯学習し、さらに医学、医療、社会の発展に貢献する医師、医学研究者の基盤となる能力

そして更に、教育到達目標をディプロマ・ポリシー（卒業時に期待されるアウトカム）として以下のように明示しています。 (<https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~med/education-of-medicine/goals.html>)

## 【教育到達目標】

1. 医学、医療、それに関連する自然科学、人文・社会科学の知識を修得して、実践に応用することができる（以下の能力を示すことによって、この能力を修得しているとする）
  - a. 知識を実践に応用することができる
  - b. 学問大系、専門領域を超えて、幅広い知識を医学、医療に活用することができる
  - c. 必要とする最新の情報を収集し、適切に選択して利用することができる
2. 基本的臨床能力を有し、患者中心のチーム医療を熱意と責任をもって安全に実践できる



- a. 常に利他的な態度を示し、心理社会背景を含む患者の抱える問題を包括的に理解して支援し、患者を尊重した医療の推進ができる
  - b. 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者ならびにその家族と良好な対人関係を築いて診療を行うことができる
    - v. 患者から情報収集を行い、データを解釈して頻度の高い疾患の診断を行い、診療方針を計画することができる
    - vi. 基本的検査・治療手技を実施することができる
    - vii. 診療録の記載と症例提示を実施し、医療情報を適切に取り扱うことができる
    - viii. インフォームドコンセントに基づく患者自らによる意思決定の支援と患者教育を行うことができる
  - c. 医療チームのメンバーと互いを尊重したコミュニケーションを図り、チームの機能を高めるためにリーダー及びメンバーとしての自分の役割を果たして、安全な医療を実践できる
  - d. 医療の実践に必要な知識や技能を修得することが医師としての責務であることを理解し、実行できる
3. 高い倫理観と社会性に基づいて、地域及び国際社会における自分の役割を認識することができる
- a. 地域医療に参加し、基本的な初期診療を実施できる
  - b. 離島・へき地を含む地域医療、先端医療、保健・福祉制度のそれぞれの機能と連携を理解し、医師の果たす役割を自覚し、行動できる
  - c. 医療資源の適切な分配をふまえた倫理的な最善の医療の選択ができる
  - d. 個人、家族、地域、文化圏、国際社会における疾患と医療の多様性を理解し、最新の情報に基づく適切な対応ができる
4. 基礎・臨床・社会医学における研究を体験し、研究の重要性と必要性を認識する
- a. 課題を発見して、論理的、批判的に考え、探求し、問題解決する自己主導型学習を行うことができる
  - b. 研究の計画と実施、結果の解析とまとめ、発表、倫理的対応を理解する

以上をご確認後、付け加えるべき事項・文書などに関する、ご意見を頂きたいと思います。

例えば、

- ・多様性への理解を促す記述が不十分である
  - ・SDG s に関する記載に乏しい
  - ・経済的な内容が含まれていない
  - ・プロフェッショナリズムに関する内容がわかりにくい
- などなど、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。



## ／ 鹿児島大学憲章

平成19年11月15日制定

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

### 教育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうよう人材を育成する。

### 研究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

### 社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

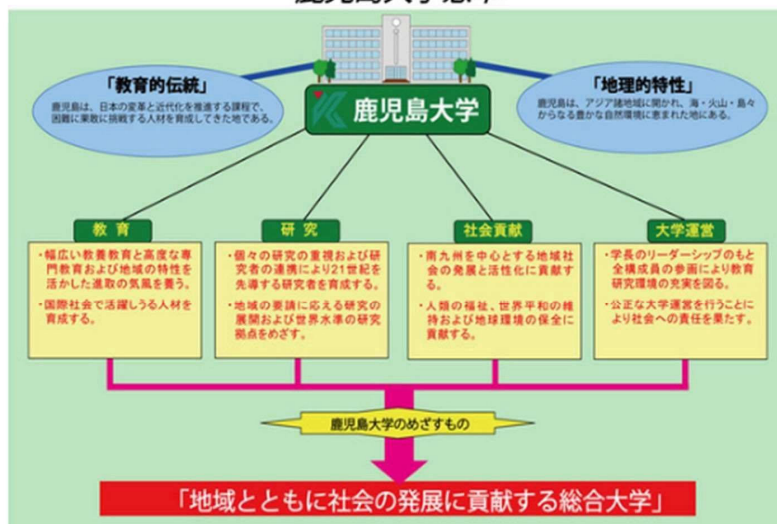
鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

### 大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

## 鹿児島大学憲章



## 鹿児島大学 学生憲章



私たちは、鹿児島大学の学生であることを誇りとし、学ぶことのできる環境に感謝し、桜島のように気高く、時には激しさを持ち、自らを磨き、未来を拓いていきます。

1. 私たちは、我が国の変革と近代化を推進した先人達の「進取の精神」を継承し、困難な課題にも果敢に挑戦し、強い意志と柔軟な心を持って自己実現を図ります。
2. 私たちは、幅広い教養を身につけ、高度で専門的な知識・技能を修得し、地球的視野を持って活躍する人間になることを目指します。
3. 私たちは、サークル活動などの課外活動に積極的に参加し、仲間との友情を育み、思いやり深く魅力溢れる人間になります。
4. 私たちは、地域社会との関わりの中で、一人の人間として責任ある行動を心がけ、社会に貢献できるよう全力を尽くします。

平成 22 年 11 月 15 日制定  
(第 61 回鹿児島大学開学記念日)

## 鹿児島大学の教育目標

### 前文

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

- 1.幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
- 2.豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
- 3.地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
- 4.グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。